

異なるバージョンのパソコン決裁での捺印用印鑑データファイルの利用について

・この文書の説明

この文書は、バージョンの異なるパソコン決裁の各ツールの利用について記述されています。

・内容

パソコン決裁 各ツール（捺印ツールや管理ツールなど）を混在して利用するには次のような制限があります。

同一コンピュータへのバージョンの異なるパソコン決裁で利用

バージョンの異なるパソコン決裁を 1 台のコンピュータにインストールし使用することはできません。

以前のバージョンで作成した捺印用印鑑データファイルをパソコン決裁 6 で利用

捺印用印鑑データファイルには互換性があり、以前のバージョンで作成した捺印用印鑑データファイルをパソコン決裁 6 捺印ツールで参照してログインすることは可能です。またパソコン決裁 6 管理ツールで管理することも可能です。

パソコン決裁 6 管理ツールで作成した捺印用印鑑データファイルを以前のバージョンのパソコン決裁で利用
捺印用印鑑データファイルには互換性があり、パソコン決裁 6 管理ツールで作成した捺印用印鑑データファイルを以前のバージョンのパソコン決裁 捺印ツールで参照しログインすることは可能です。また、以前のバージョンの管理ツールで管理することも可能ですが、Active Directory やドメインコントローラとユーザを共有されている場合には、以前のバージョンで対象となるユーザを編集した場合に、その結果は予想されませんので、パソコン決裁 6 管理ツールのご利用をお勧めします。

・影響を受けるソフトウェア

パソコン決裁 5 捺印ツール

パソコン決裁 5 管理者ツール

パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition

パソコン決裁 6 管理ツール Standard Edition

パソコン決裁 6 管理ツール Advanced Edition